横浜市立小田中学校　学校だより

小田の丘

令和8年度第5号
令和８年９月30日発行

学校 HP はこちら↓

2026年度　重点目標　「 粘り強くしなやかに　自分らしく生きる力の育成」

中秋の名月に思う

校長　中野　瑞枝

厳しい暑さも和らぎ、季節は秋へと歩みを進めています。学校では、３年生が部活動やクラブ活動を引退し、一つの節目を迎えました。諸活動の現役中は、思い通りにいったことも、悔しい思いをしたこともあったことでしょう。しかし、仲間とともに努力し、挑戦してきた経験は、すべて皆さんの糧となりこれからの人生を支える大きな財産となるはずです。その経験を土台として、新たな目標に向けて前へ進んでほしいと思います。引退は、節目であり次の目標のスタートでもあります。

また、２年生にとっては新たな責任を担う緊張や不安があることでしょう。しかし、それは新しいスタートラインに立ったということでもあります。これからは２年生が中心となり、部活動を支え、後輩を導いていく立場になります。慣れないリーダーとして悩むこともあると思いますが、一人で責任を抱え込む必要はありません。仲間と知恵を出し合い、支え合いながら、それぞれの部活動の目標に向かって新たなチームを築いていくことを期待しています。

さて、今年の夏も異常気象を強く考えさせられる自然災害が続きました。群馬県では観測史上最高となる41.8℃を記録し、各地で猛暑が続きました。また、台風や記録的な大雨は全国各地に大きな被害をもたらし、神奈川県や横浜市内でも道路の冠水や交通機関への影響が見られました。自然の猛威を前に、改めてその恐ろしさと備えの大切さを実感した夏となりました。毎年９月は台風シーズンを迎え、風水害への警戒が必要な時期です。発生することは理解していても、実際にこれだけ次々と大きな台風が接近すると、不安や恐怖を感じます。

２０１１年３月１１日に発生した東日本大震災では、岩手県釜石市のある小・中学校と児童生徒が、日頃の防災学習を生かして自ら判断し、より高い場所へと避難しました。避難の途中で周囲の人々にも声をかけながら行動した結果、多くの命が守られました。この話は「釜石の奇跡」と呼ばれています。その一方で、日頃から学校で行われていた防災教育や避難訓練の積み重ねがあったからこそ、子どもたちは自ら考え、周囲の状況を判断しながら行動することができたのです。防災教育を通して、「自分の命は自分で守る」というような力も育んでいかなければなりません。皆さんは、登下校中に突然雷が鳴り始めたらどう行動しますか。激しい雨が降り始め、道路がみるみる冠水してきたらどうしますか。家に一人でいるときに大きな地震が起きたら、どこへ避難し、誰と連絡を取りますか。地震や台風、大雨などの自然災害は、いつどこで発生するか分かりません。だからこそ学校だけでなく、地域や家庭とともに防災について考え、日頃から備えることが大切です。ぜひ、ご家庭でも「もし今災害が起きたらどうするか」を話し合っていただければと思います。

台風や豪雨、特別警戒など人に脅威を与えるのも自然、一方で、澄み渡る夜空に浮かぶ満月の美しさもまた自然です。自然は時に私たちの暮らしや命を脅かす存在となりますが、一方で美しい風景や豊かな実りをもたらしてくれます。人は自然と対立して生きるのではなく、その恵みを受けながら共に生きています。

今は中秋の名月、澄み渡る夜空に満月が美しく輝くことを願わずにはいられません。

３年生　長崎修学旅行（6/11～13）



６月中旬、３年生が長崎・福岡への修学旅行を無事に終えました。

１日目は長崎で平和学習を行い、原爆資料館を見学しました。展示資料や被爆の事実に触れながら、戦争の悲惨さと平和の尊さについて真剣に考えました。平和という大きなテーマではありますが、まずは目の前の友達を思いやること、相手の話に耳を傾けること、互いの違いを認め合うこと。そんな日々の積み重ねこそが平和につながるのだと、生徒たちは感じ取ってくれたように思います。

２日目は長崎市内での班別自主行動。歴史や文化に触れることはもちろん、仲間と計画を立て、自分たちで判断しながら行動するのも大切な学習です。予定通りいかなくても、相談しながら解決する姿があり、仲間を気遣う優しい言葉や互いに声を掛け合う姿からは、この学年の温かさを改めて感じることができました。夜はホテルでのお楽しみ会。仲間と過ごす一瞬一瞬が特別な時間。部屋でのおしゃべりや笑い声も、忘れられない思い出になったことでしょう。

最終日は太宰府天満宮を訪れました。参道を散策しながら名物を味わい、お土産選びながら、“学業の神様”として名高い菅原道真公に「志望校に合格できますように」と手を合わせた生徒も多かったことでしょう。ただし、神様はお願いを聞いてくださいますが、問題を解き、願いを叶える最後の一歩は、自分自身の努力で踏み出してくださいね！

この三日間で生徒たちは、歴史や文化に触れ、仲間との絆を深め、そして平和について真剣に学びました。戦争の悲惨さや平和の尊さに触れ、「自分たちにできることは何だろう」と考える時間となりました。しかし、本当に素晴らしかったのは、その学びを旅行の思い出だけで終わらせなかったことです。

緑学年では、修学旅行平和委員を中心に募金活動に取り組みました。朝の登校時間や体育祭で、生徒たち自ら呼び掛けを行い、多くの仲間やご家族がその思いに応えてくださり、活動の輪は学校全体へと広がりました。結果、集まった募金は 41,868 円 。その一円一円には、誰かを思いやる優しい気持ちが込められています。集まった募金は、性教育講演会でもお世話になった看護師の高野しのぶさんが運営する子ども食堂「しのぶ食堂」へ寄付させていただきました。後日、高野さんから「普段の運営ではなかなか提供できないお菓子や魚料理（鯛！）まで用意できました。皆様に『ありがとう！！』とお伝えください。」というれしいお言葉をいただきました。長崎で学んだ平和が、小田中学校から誰かの食卓へ届いた瞬間でした。



平和とは、遠い国の出来事を考えることだけではありません。困っている人を気遣うこと。 誰かのために行動すること。 自分にできることを見つけて一歩踏み出すこと。その積み重ねが平和な社会をつくっていくのだと、緑学年の皆さんが教えてくれました。帰ってきた時に少し成長した自分に出会えるのが修学旅行です。今回の３日間は、まさにそんな「成長の旅」だったと感じています。

最後に、緑学年全員で考えた「平和宣言」を紹介します。未来の平和をつくる主役は、今を生きる私たち一人ひとりです。

小田中学校　緑学年　平和宣言

世界では今なお争いが続き、多くの尊い命が失われています。誰もが安心して暮らせる世界を作るために私たち中学生にできることは、過去の歴史を正しく学び、過ちを繰り返さず、自分のまわりの人たちを大切にすることです。笑い合える幸せを守るために、私達はここに宣言します。

ひとつ、学び続けます。

戦争の悲惨さや残酷さを知り、被爆者やその家族の悲しみを自分のことのように考えます。そして、その悲しみを忘れないように後世に伝えていく努力をし続けます。

ひとつ、人との関係を大切にします。

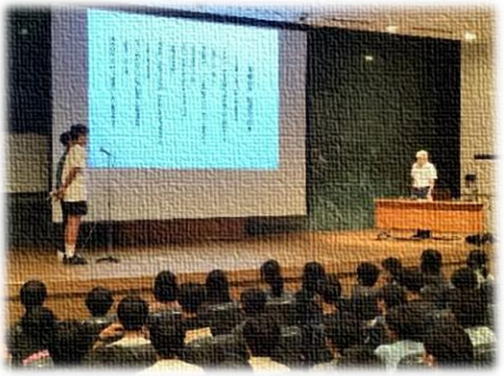
笑い合える関係を作ります。他者の気持ちを尊重し、多様な個性があることを理解し相手の意見を否定せず認め合います。

ひとつ、笑い合える日々を大切にします。

「笑顔」は、安心して帰れる家があること、好きなものが食べられること、学校に来られること、家族や友達と話せることから生まれます。この笑い合える日々を当たり前だと思わず一日一日を大切にしていきます。

長崎は、核兵器による悲劇を経験した、最後の街でなければなりません。平和をつくるのは、ここにいる私たち一人ひとりです。「自分たちにできることを、一歩ずつ足元から」始めること。それこそが、未来を変える確かな力になります。世界のどこかで戦争や貧困に苦しんでいる人たちのために、私たちが行った「募金活動」も、立派な平和への歩みです。一人ひとりの優しさは小さく見えても、みんなの心が集まれば、世界を助ける大きな力になります。その小さな分かち合いが、国を越えて、世界中の人たちを笑顔でつなぐことになるのです。過去の痛みを忘れず、目の前の小さな行動を積み重ね、誰もが安心して暮らせる世界を、共につくり上げていきます。

2026年6月11日　横浜市立小田中学校3学年一同





夏の足跡。部活動引退を迎えた３年生。 続！市総体他 記録（夏休み以降）

今年の夏も、小田中生はそれぞれの競技や活動の舞台で全力を尽くしてくれました。歓喜に沸いた試合もあれば、あと一歩届かず涙を流した場面もありました。しかし、勝敗以上に価値があるのは、目標に向かって仲間とともに努力し続けた日々です。引退を迎えた3年生の姿からは、最後まであきらめずに戦い抜くすごみ、仲間を信じる強さ、そして小田中の伝統を背負う責任感が伝わってきました。その背中は、後輩たちの心に確かに刻まれたことと思います。
試合終了の笛は鳴りましたが、次のステージへ向かう3年生の皆さん、そして新チームを心から応援していますよ！

陸上競技部	市総合体育大会　18 名出場 　男子 400m第 4 位 ➡神奈川県総合体育大会　出場 神奈川県通信陸上競技大会　男子 2 名出場（走り幅跳び・男子 800m） 神奈川県選抜陸上競技大会　男子 2 名出場（走り幅跳び・男子 800m）
バレーボール部	市総合体育大会3回戦 vs 共進中0対2　惜敗➡市ベスト 32
卓球部	市総合体育大会 市大会女子個人2名　31位、34 位で県大会出場 市総合体育大会 男子団体 決勝トーナメント1 回戦 vs 西本郷中 2 対 3 惜敗➡市ベスト 32 市総合体育大会 女子団体 決勝トーナメント1 回戦 vs 寺尾中 3 対 1 勝利 準々決勝 vs 万騎が原中 0 対 3 惜敗　5位決定 1 回戦 vs 豊田中 3 対 1 勝利 5位決定 2 回戦 vs 洋光台二中 3 対 0 勝利　➡市5位突破、県大会進出 神奈川県総合体育大会 女子団体 1 回戦 vs 泉中 3 対 1 勝利 2 回戦 vs 玉縄中 3 対 1 勝利　準々決勝 vs 光ヶ丘中 1 対 3 惜敗 5 位決定1回戦 vs 今宿中 3 対 0 勝利 5 位決定 2 回戦 vs 万騎が原中 1 対 3 惜敗　➡県大会 6 位
テクノ部	World Robot Olympiad 東京予選会（45 チーム参加中） 第 8 位、第 9 位入賞
吹奏楽部	横浜吹奏楽コンクール 出演 クイーンズスクエア横浜 MUSIC DAYS 2026 出演



9/10 1年 未来づくり科「夢プログラム」

９月 10 日（木）4校時～6校時にかけて、1年生の未来づくり科で『夢プログラム』を実施しました。自分の興味や関心に気づく“入口”として、毎年一年生で行っているキャリア教育の導入プログラムです。生徒たちが未来を思い描く姿を見るたびに、「可能性の広がり」を感じます。当日は、各分野で活躍されている社会人の方々がなんと約 30 名も来校してくださいました。生徒たちは、“仕事人”のリアルな話に耳を傾けたり、“好きなものビンゴ”に取り組んだりしながら、世の中には本当に多種多様な仕事があることを実感していました。

「将来について考えるのがこんなに楽しいとは思わなかった」「自分の性格がよく分かった」という感想もあり、体験そのものが“自分を知るきっかけ”になったようです。また、仕事人の方々との交流を通して、「自分の好きなことを大切にしたい」「夢を尊重し合えるのが嬉しかった」という前向きな言葉が多く聞かれました。最初は夢が決まっていなかった生徒も、「あれもこれもやってみたい」と視野が広がった様子で、仲間同士で励まし合う姿が印象的でした。

さらに、「世の中にはたくさんの仕事があって、その人たちのおかげで生活が成り立っていると気づいた」「誰かに感謝されるような人になりたい」という、社会への視点が広がった感想も寄せられました。友達の“好き”を知ることで仲が深まったという声もあり、学びと交流が自然に結びついていたことが伝わってきます。

将来の夢がまだ決まっていない生徒も、「あせらず見つけていきたい」「これからの自分が楽しみになった」と前向きに受け止めており、今回の体験が“未来への一歩”になったことがよく分かります。夢がはっきりしている生徒もいれば、「まだ決まっていないけれど、いろいろ試してみたい」という生徒もいて、そのどれもが大切な一歩です。義務教育が終わった後の生き方を考えることは、決して早すぎることではありません。むしろ、こうした体験が“自分の未来を自分でつくる”という意識につながっていくのだと感じました。



9/25 ありがとうございました！高橋先生　離任式



4 月から半年間、本校でご尽力いただいた高橋先生が離任されました。ユーモアあふれる温かい人柄で生徒との距離も近く、理科の楽しさや奥深さを伝える授業、豊富な経験に裏打ちされたバスケットボール部の指導は、多くの生徒の心に残っています。惜別の会では、部長・副部長から感謝の気持ちのこもったメッセージが贈られ、1 年生学年集会では代表生徒が涙ながらに思いを伝える場面もありました。高橋先生が小田中に残してくださった学びと温かさを、これからも大切に引き継いでいきます。ありがとうございました。

♪ R8 小田中音楽祭『 歌いすぎて“滅” 』所せましと鳴り響く美しいハーモニー ♪



10月 16 日(金)に開催いたします小田中音楽祭。今年のスローガンは『 歌いすぎて“滅” 』です。今、学校では音楽祭本番に向けて校舎のありとあらゆる場所から、魂とクラスへの愛情がこもった生徒たちの歌声が聞こえてきます。ふと気づけば、子どもたちの奏でる美しいハーモニーに包まれ、早くも心が穏やかになっている自分がいます。どのクラスも最優秀賞を、さらにその先のクラスの団結力の高まりを目指して、心を一つに懸命に練習していますよ!ご都合をつけていただける方は、ぜひとも生徒たちの集大成となる大本番を聴きに、体育館まで足をお運びください。お楽しみに!!

保護者の皆様には、既にすぐーるにてお伝え済ですが、R8 年度音楽祭の大まかなタイムスケジュールです。

プログラム	体育館入場可能な保護者	受付開始予定	発表予定時間
開会式および1学年合唱	1年・音楽祭実委保護者	8:55	9:15～10:15
2学年合唱	2年保護者	10:05	10:25～11:00
3学年合唱および職員合唱	3年保護者	10:50	11:10～12:00
吹奏楽部演奏および閉会式	吹総学部保護者>音実保護者>席次第で3年>2年>1年一般保護者	12:50	13:10～14:15

※参観を予定されている保護者の皆さまは、すぐーる配信済の「音楽祭　保護者参観について」にて詳細をご確認ください。また、**参観予定の方は、必ず10月2日(金)までに、添付の Google フォームにて回答**をお願いします。